

社会福祉法人聖寿会 特別養護老人ホーム 健生苑
相談員・社会福祉士

前 嘉郎氏 2006年 社会福祉学科卒
MAE YOSHIROU



先駆的取り組み生かし、困っている人の力に

「これまでの職歴を教えてください。」
特別養護老人ホーム「健生苑」で、入所利用者とその家族への相談援助業務を行っています。それ以前は、鹿児島市役所の障害者福祉課で障害区分認定調査業務、老人保健施設で支援相談員の経験などがあります。

「東京で開催された福祉のセミナーで事例発表されたそうですね。」

「全国の福祉施設・事業所における先駆的な取り組みとして、本施設で取り組んでいる実践事例を発表しました。」

「これまで施設入居者の排せつは、ベテラン職員の経験と勘に頼り、課題が多かったため、本施設では超音波センサーによって、排せつのタイミングが分かる機器を導入しました。過剰な排せつ確認をせず、睡眠を妨げないことで昼間の生活状態に改善がみられたように感じるなど、成果を実感していることを紹介しました。」

「現在のお仕事の醍醐味を教えてください。」

「認知症の進行した入所者が忘れてしまったことや、身体上の問題であきらめていることを、可能な限り支援しています。例えば、食事の食べ方を忘れてしまった方に対し、昔よく行っていた食堂や嗜好品を提供すると、その方の自発的な行動や嬉しそうな様子がみられた時は本当に嬉しくなります。もともと、相談支援従事者としてのスキルを磨いていきたいと思っています。」

「地域の消防団員もされているそうですね。」

「日本は災害が多いので、7年ほど前に入り、地域の防災活動に努めています。困っている人がいたら、適切に支援できるように、実践的な訓練を受けています。」

「仕事をすするうえで、大学時代のどのようなことが役立っていますか。」

「社会福祉学科の卒業生と現在も交流があり、仕事での連携や情報交換等を行っています。学生時代に一緒に学んだ友人は大切な宝物です。」

「後輩にメッセージをお願いします。」

「学生時代に様々な経験をして人間関係形成の難しさを実感し、自分と向き合いました。学生時代でなければできないことはたくさんあると思います。思い切って一歩を踏み出して色々なことに取り組むことが自分の未来につながります。」

「転職をした経験から多くのことを学び、その結果が今の自分の強みだと思っています。結果を恐れず、自分の歩んだ人生を振り返り、それを誰かに伝え、誰かを支えられるような人になってもらいたいと思います。」

Profile

前 嘉郎

1983年7月22日生まれ。鹿児島市出身。鹿児島市立鹿児島商業高校卒。2006年に鹿児島市役所障害者福祉課で約3年勤務後、老人保健施設や一般企業での勤務経験もある。3年前に社会福祉士の国家資格を取得。



職場近くの『くすの木在宅介護支援センター』に勤務する高富佳奈恵さん(写真左)は、大学の同級生で同じ中山慎吾教授のゼミ出身。勤務する法人は違うが、入居者の受け入れ等で連携することがあり、取材日もすぐに駆けつけてくれた。